

研究課題番号	4-2102
研究課題名	世界自然遺産・知床をはじめとするオホーツク海南部海域の海氷・海洋変動予測と海洋生態系への気候変動リスク評価
研究実施期間	2021年度～2023年度
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	三寺史夫

1. 委員の指摘及び提言概要

温暖化シナリオと海洋および海氷の物理的予測については、一定の成果があったと評価できる。とくに、CO₂排出量と海氷消失の可能性、漁協の長期観測データの活用、海氷の有無が及ぼす海水表層の鉄濃度の影響、アイスアルジーの構造、主要魚種やアザラシなどの海洋生態系のモニタリング技術の確立に向けて、成果を上げたといえる。とはいえ、アムール川からの土砂の海への流出や、知床半島の陸域と海域の関係など、海洋生態系に影響するメカニズムについての言及がなく、課題として残った。この欠落が予測に及ぼす影響の解明について、今後の研究の進展に期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A